

## 令和6年度 学校評価の結果と状況分析

### 1 アンケートの回収状況

	対象	対象者数	回答数				回答率
			小	中	高	計	
1	教員	33	9/9	9/9	15/15	33/33	100%
2	保護者	43	11/11	10/12	20/20	41/43	95%
3	学校評議員	5	5/5				100%
4	ばんだい荘職員	10	10/10				100%
5	中学部生徒	12	11/12				92%
6	高等部生徒	20	20/20				100%

※保護者は世帯数を表す。令和6年11月1日現在在籍児童生徒保護者を対象として実施

### 2 評価結果と学校経営・運営ビジョンにおける達成概況

#### (1) 評価結果

ビジョンの内容	教員	保護者	ば荘	評議員	状況
楽しく登校できる学校	4	4	4	4	◎
<小学部>学び合える場の工夫と言葉の力の育成	4	4	4	4	◎
<中学部>相手の良さを認め合い、思いやる言葉遣いで会話する力の育成	4	4	4	4	◎
<高等部>互いに協力し合う活動を取り入れ、生徒が自ら行動、発信する力の向上	4	4	4	4	◎
学びの姿を家庭や地域に向けて工夫して発信	4	4	4	4	◎
ICTを活用した効果的な学び	4	4	4	4	◎
公共のマナーやきまりを守り安全を意識した行動を身に付けられる指導	4	4	4	4	◎
進路学習や進路情報の充実、進路意識の啓発、勤労観や職業観の育成	4	4	4	4	◎
一人一人の健康課題解決に向けた取り組み	4	4	4	4	◎
児童生徒の生命と安全を守り、獣害対策や安全・防災教育の充実	4	4	4	4	◎
生きる力を育む教科指導の工夫を大切にした授業づくり	4	4	4	4	◎
地域への啓発、地域の方々の理解と協力	4	4	4	4	◎
はあとふるタイムや校内外の教育相談の充実	4	4	4	4	◎

※ 教員、保護者の評価は、3学部の評価を合わせた割合として評価をしている。

※ 評価は、以下の基準で行う。

評価	評価基準
4	「A」と「B」を合わせて90%以上で、「C」と「D」を合わせて10%以下の項目がある場合
3	「A」と「B」を合わせて70%以上であるが、「C」と「D」を合わせて30%以下の項目がある場合
2	① 「A」と「B」を合わせて40%以下であり、「C」と「D」を合わせて60%以上の項目がある場合 ② 「C」と「D」のいずれかが40%を越える項目がある場合
1	「C」と「D」を合わせて80%以上の項目がある場合

<ビジョンの達成状況>

「達成している」 → ◎	評価が対象区分において、すべて「4」である場合
「概ね達成している」 → ○	評価が対象区分において、「4」と「3」である場合
「改善を要する」 → △	評価が対象区分において、「2」がある場合
「問題がある」 → ×	評価が対象区分において、「1」がある場合

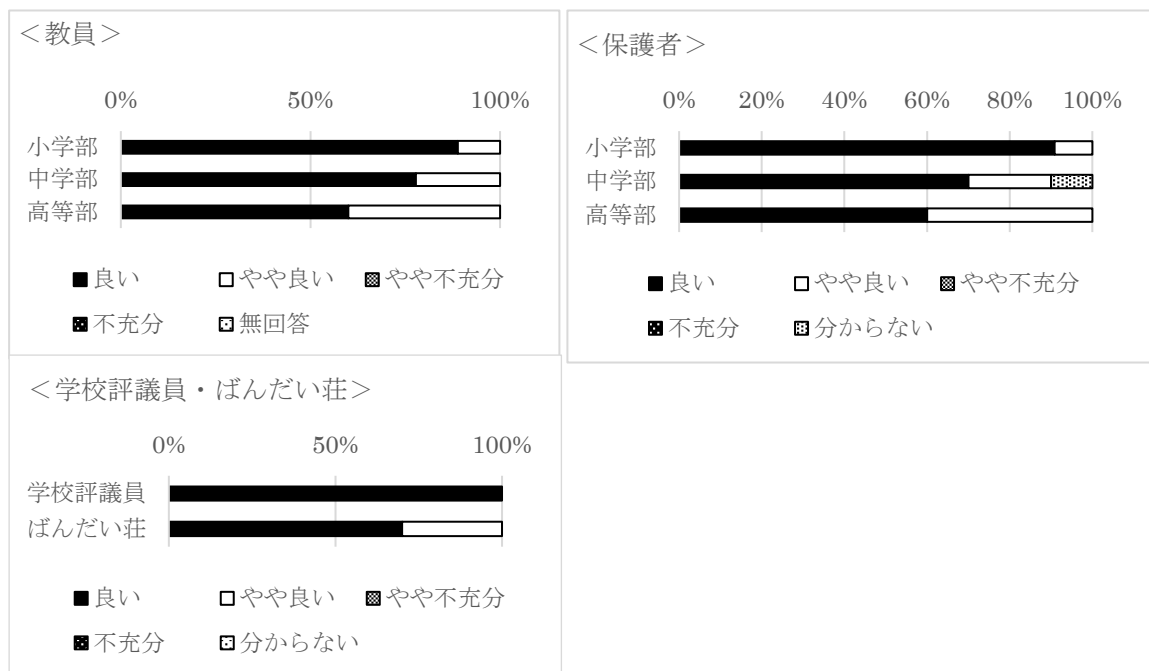
(2) 概況

- ① 教員、保護者、学校評議員、ばんだい荘職員ともに評価ポイントが高いことから、**学校経営・運営ビジョンが達成されていると評価された**と言える。
- ② 教員の評価は、全ての項目で**評価ポイントが高い**。
- ③ 保護者の評価は、全ての項目で**評価ポイントが高い**。特に「学び合える場の工夫と言葉の力の育成」「相手の良さを認め合い、思いやる言葉遣いで会話する力の育成」「一人一人の健康課題解決に向けた取り組み」「児童生徒の生命と安全を守り、獣害対策や安全・防災教育の充実」に関する項目の評価ポイントが高く、**学校生活及び学びについては概ね満足を得られている**。
- ④ ばんだい荘職員の評価は、**全ての項目で評価ポイントが高く、概ね高い評価を得ている**。本校の教育実践への理解と互いに協力・連携しながら児童生徒の指導、支援に当たっていると実感されていることが推察される。
- ⑤ 学校評議員の評価は、**全ての項目で評価ポイントが高く、概ね高い評価を得ている**。

3 各項目における評価結果と評価者間の比較・分析

注：各回答間の比較において「多い」、「少ない」の表現で分析を行っているが、実数の比較ではなく傾向の比較として解釈すること。

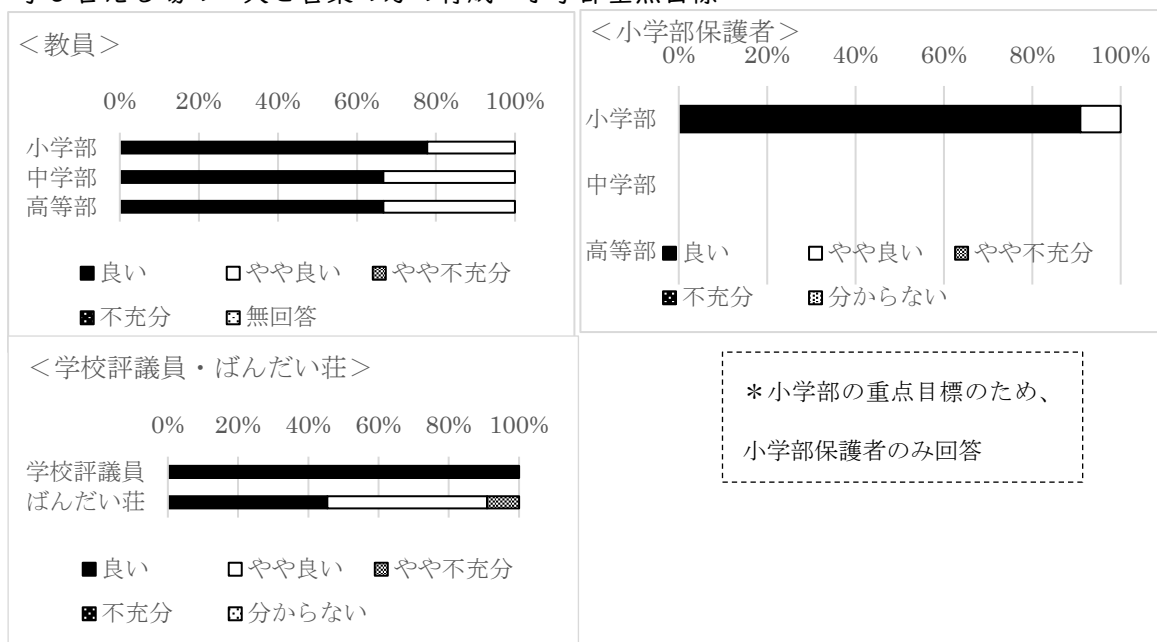
(1) 楽しく登校できる学校



教員、学校評議員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。児童生徒が学校生活において概ね楽しさを感じながら登校していると評価している。しかし、保護者において、「分からない」という回答がごく一部あった。学校評議員の自由記述においては、「落ち着いた雰囲気の中、安定した生活態度が見られた。」、ばんだい荘職員からは、「さまざまな取り組みありがとうございます。」「クラスによって行こうとされない方も時折いらっしゃいます。人数が少なく、

学力によってなので難しい状況です。」という意見があった。保護者からは、「毎日学校に通って授業や活動に参加でき、充実した学校生活を送っています。先生方のおかげです。ありがとうございます。」との意見があった。今後も、安心・安全な学校を目指し、児童生徒が楽しいと感じられる学校、保護者やばんだい荘職員が安心して任せられるような学校づくりを目指していきたい。そのためには、児童生徒との信頼関係づくりの構築、満足感や期待感をもって学ぶことができる教育計画や授業づくりの工夫に努めていきたい。

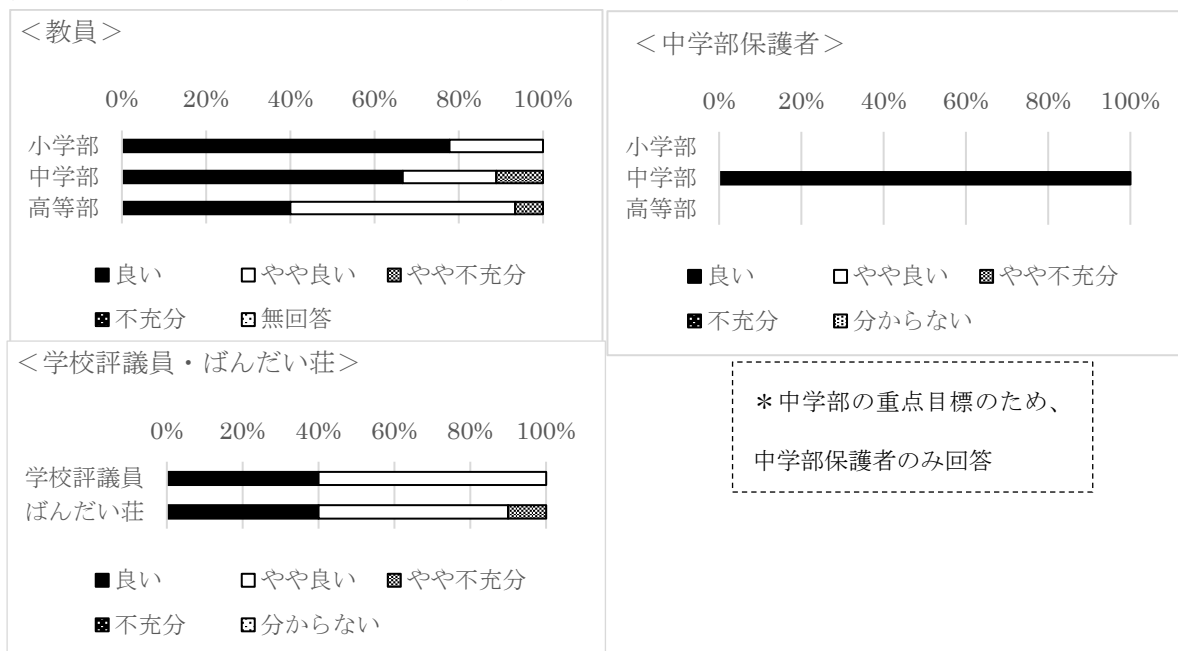
(2) 学び合える場の工夫と言葉の力の育成<小学部重点目標>



教員、保護者、学校評議員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。しかし、ばんだい荘職員において、「やや不十分」という回答がごく一部あった。学校評議員の自由記述においては、「一人一人の自発的行動を、時間をとって見守り指導していた。」という意見があった

本校の小学部は11名と少人数ではあるが、全学年合同で体育を行ったり、上学年と下学年で音楽を行ったりしている。また、上学年の国語科・算数科においては、グループ別で学習を行ったり、2・3・4年生が合同で図画工作科を行ったりしている。友達の様子を見たり、発表や意見を聞いたりする場の設定を工夫し、児童同士学び合いながら、言葉の力も育てている。今後も教科や学習内容によっては、学年の枠を超え、学び合える場の工夫を行い、言葉の力の育成を図っていきたい。

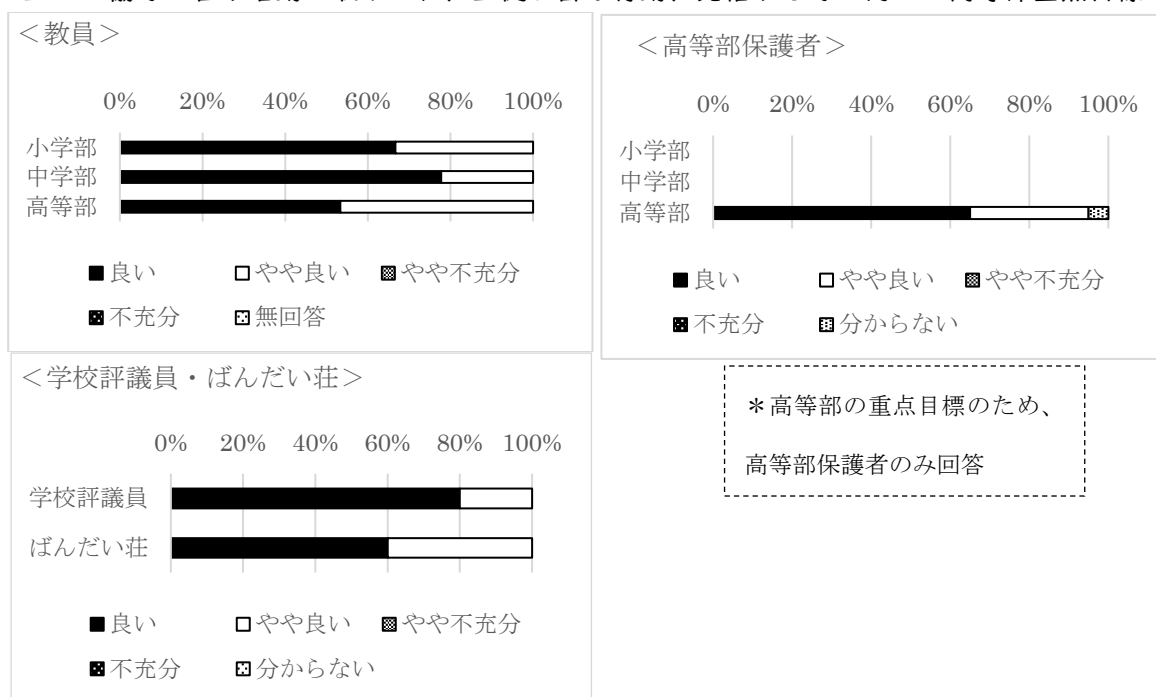
(3) 相手の良さを認め合い、思いやる言葉遣いで会話する力の育成<中学部重点目標>



学校評議員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。保護者は、「良い」の割合が、100%と非常に高い評価であった。しかし、中学部と高等部教員においては、「やや不十分」との回答がごく一部あった。ばんだい荘職員において「やや不十分」という回答がごく一部あった。学校評議員の自由記述においては、「行事のまとまりから、日常の相互理解ができていられる。」という意見があった。ばんだい荘職員の自由記述からは、「数年前は言葉遣いが雑な教員が確認されたとの話があったが、現在はそのような報告がありません。」という意見があった一方で、「先生方が子ども達を呼び捨てにすることがあり、気になります。」という意見があった。また、教員からは、「教師の言葉遣いが悪いことがある。」「教師も言葉遣いを意識して会話する必要がある。」との意見があった。

教員の言葉遣いは、児童生徒のモデルとなりうるものである。前に立ち、人を育てる仕事という立場を再度自覚し、児童生徒の人格を尊重しながらかかわる必要があると思われる。教員は、子どもたちにとっての言葉を育てる、心を育む人的環境としての大きな存在であることを意識し、丁寧な言葉遣いで児童生徒とかかわる必要がある。

(4) 互いに協力し合う活動を取り入れ、生徒が自ら行動、発信する力の向上<高等部重点目標>

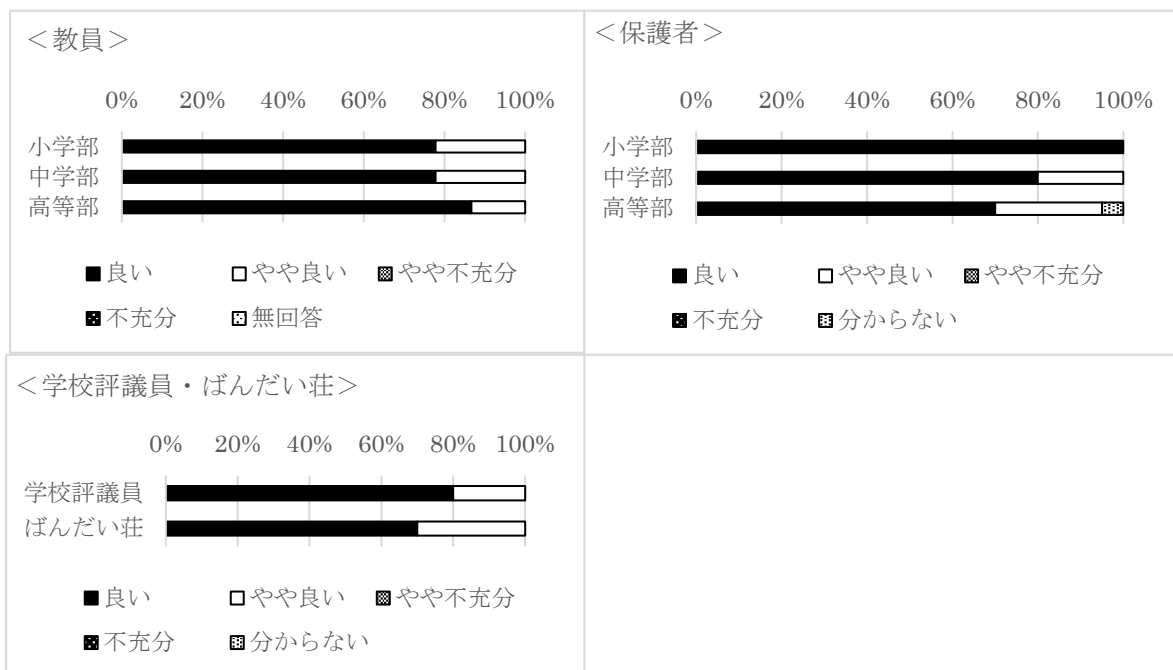


教員、学校評議員、ばんだい荘職員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。保護者は、大部分が「良い」「やや良い」で回答していたが、「分からない」の回答もごく一部見られた。

学校評議員の自由記述においては、「自分のできることを、自信をもって行い、発信しようとする姿が見られる。」、ばんだい荘職員からは、『「うまくてごめんな山菜」すばらしかったです。子ども達同士だけでなく、先生と子ども達が一緒に作り上げていると感じました。』、保護者からは、「うまくてごめんな山菜」の商品企画などとても素晴らしい取り組みをしていると思います。』『「うまくてごめんな山菜」の販売は本当に素晴らしいと思います。(普通の高校でもなかなかできないと思うので)良い経験をさせていただき感謝しています。』との意見があった。高等部の総合的な探究の時間に取り組んだ商品開発が高く評価された結果だと思われる。

これからも、生徒同士が互いに協力し合う活動を取り入れ、生徒が自ら行動、発信する力を学部一丸となって育てていきたい。

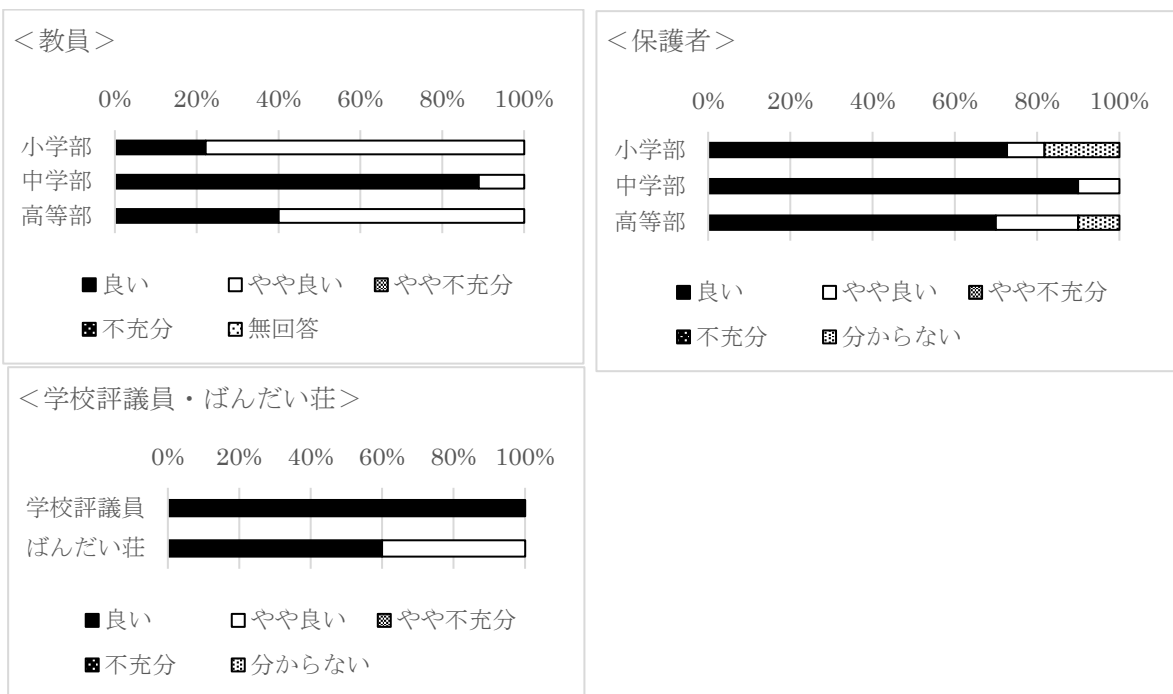
(5) 学びの姿を家庭や地域に向けて工夫して発信



教員、小学部・中学部保護者、学校評議員、ばんだい荘職員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。小学部保護者は、「良い」の割合が100%と非常に高い評価であった。学級通信や学校便り、ホームページや福島県教育委員会公式noteにおいて児童生徒の**学びの姿を発信したことで、学校の取り組みを広く地域に周知できた**と評価できる。学校評議員の自由記述においては、「ホームページ、学校だよりの地域回覧など身近な人々への発信が見られる。」「不動地区において、「回覧」利用して情報を発信され、地元の区民として理解が深まったと思います。今後も「回覧」を利用させていただきたいと思います。新しい試みを実行され、マスコミ等の利用も有意義だと思います。」、ばんだい荘職員からは、「修学旅行の写真が更新されることを楽しみにされているご家族がいらっしゃいました。」との意見があった。

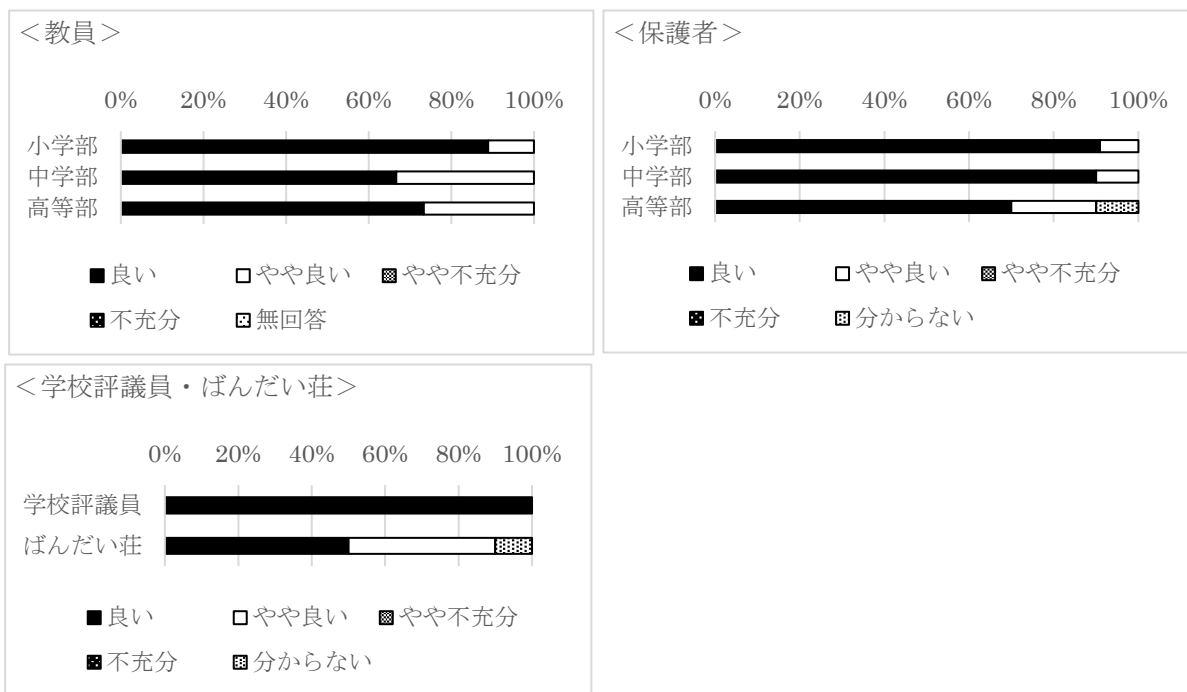
今年度は、本校に関する記事が新聞に12回掲載されたり、高等部の商品開発の取り組みがテレビで2回放映、ラジオ番組の出演もしたりと、**学びの姿を家庭や地域に向けて、大いに発信できた**と感じる。引き続き、**学びの姿を家庭や地域に向けて工夫して発信**していきたい。

(6) ICTを活用した効果的な学び



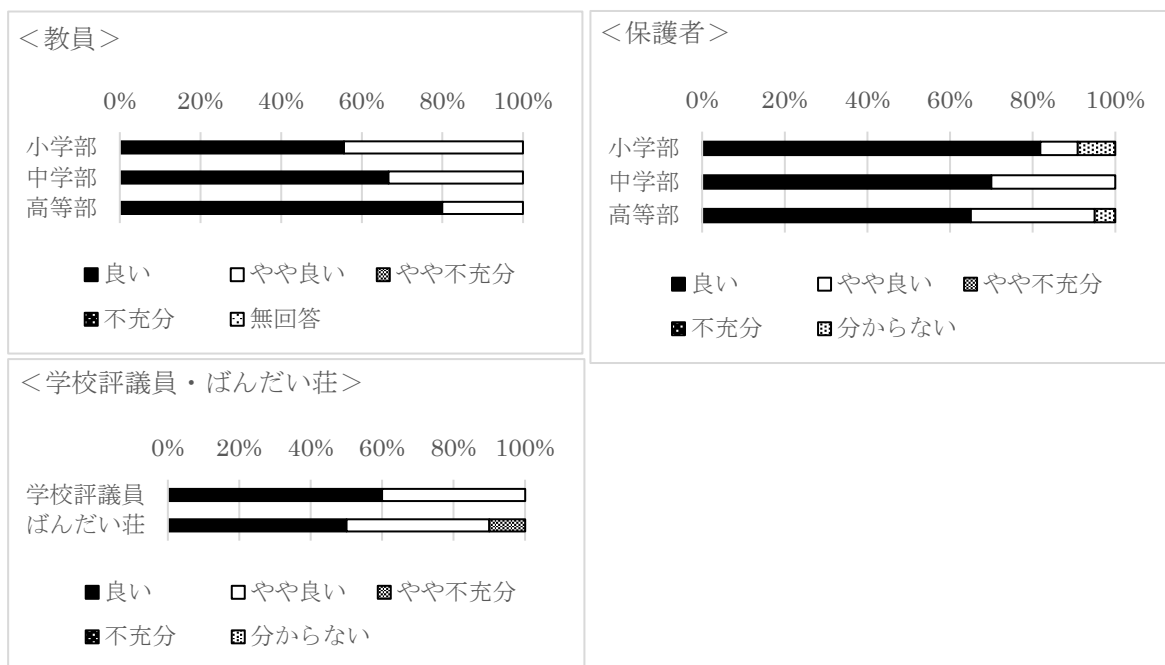
教員、学校評議員、ばんだい荘職員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。学校評議員は、「良い」の割合が100%と非常に高い評価であった。小学部、高等部保護者においては「分からない」との回答が見られた。保護者の自由記述には、「使用しているか分からない。」という意見があった。ばんだい荘職員の自由記述からは、「子ども達がタブレットで作成したものに驚きました。」という肯定的な意見が挙げられていた。ICT機器の活用が児童生徒の学びに有効であり、効果的に授業に取り入れていこうという教員の意識は高まっている。その一方で、小学部・高等部の教員の「良い」の評価ポイントが、他の項目と比べてみると低いことを鑑みると、まだまだICT機器の効果的な活用に不安を感じる教員もいるものと思われる。今後も教員の研修を積みながら、ICTに関する知識技能を身に付け、児童生徒が身近なツールとしてICT機器を活用し、情報活用能力や情報モラルを身に付けていけるように、さらに研究と修養に努めていく必要があると思われる。

(7) 公共のマナーやきまりを守り安全を意識した行動を身に付けられる指導



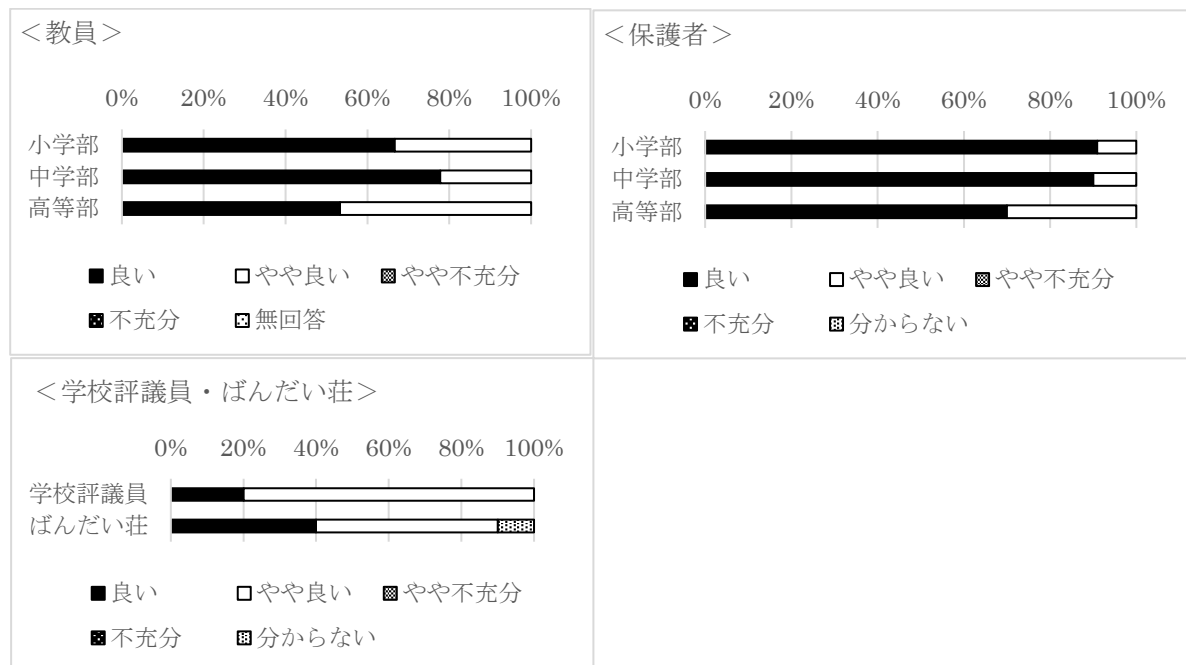
中学部・高等部教員、中学部保護者、学校評議員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。高等部保護者、ばんだい荘職員においては、「分からない」との回答がごく一部見られた。学校評議員は、「良い」の割合が100%と非常に高い評価であった。学校評議員の自由記述においては、「校外活動、社会体験などで交通機関の利用方法、ルールなど学ばせている。」という肯定的な意見が挙げられていた。その一方で、教員の自由記述には、「指導はしているが、地域の特性上、公共施設を使いづらい環境（交通費問題）である。」との意見があった。本校の立地条件から、駅まではタクシーを使わざるを得ない状況であったり、タクシーやバスの予約を取りにくかったり等の課題はある。昨年度に引き続き、今年度もどの学部においても積極的に公共交通機関や公共施設の利用をしている。学校周辺の物的・知的資源も多数あり、会津若松市や郡山市にも足を伸ばせることを利点と捉え、今後も引き続き、身近な地域の物的・人的資源の活用を図り、児童生徒の経験拡充や公共のマナーやきまりの習得に改めて取り組んでいく。

(8) 進路学習や進路情報の充実、進路意識の啓発、勤労観や職業観の育成



教員、中学部保護者、学校評議員は、全て「良い」「やや良い」という評価であったが、小学部・高等部保護者において、「分からない」という回答が一部あった。ばんだい荘職員からは「やや不十分」の評価があった。学校評議員の自由記述においては、「就労に向けて早期の知識・体験を学びとさせている。」という肯定的な意見が挙げられていた。保護者の自由記述には、「障がいのある子が将来的に働ける社会づくりをして欲しい。受け入れてくれそうな職場が少ない。」「進学または就職するにしても今の社会のままでは、子どもたちがかわいそうすぎる。学校側も大変だと思いますが、もっと就職や進学に向けて力を出してほしい。子どもの将来が一番心配です。」という意見も挙げられていた。本校では、進路指導部が中心となって、中学部・高等部生徒対象の進路学習会や保護者向けの進路セミナー等を実施し、親子それぞれに向けてのアプローチを行い、将来を見通した意識の啓発を図っている。また、就労前に身に付けたい力を育成すべく、小学部段階の小さい頃から、年齢や発達段階に応じて必要なスキルを身に付けさせ、将来の自立と社会参加を目指した進路学習を進めている。児童生徒が社会で生きる力を身に付けていくことはもちろんのこと、保護者、教員、関係機関が連携して、今後も個々の児童生徒の進路実現に向けて、さらに邁進していきたい。

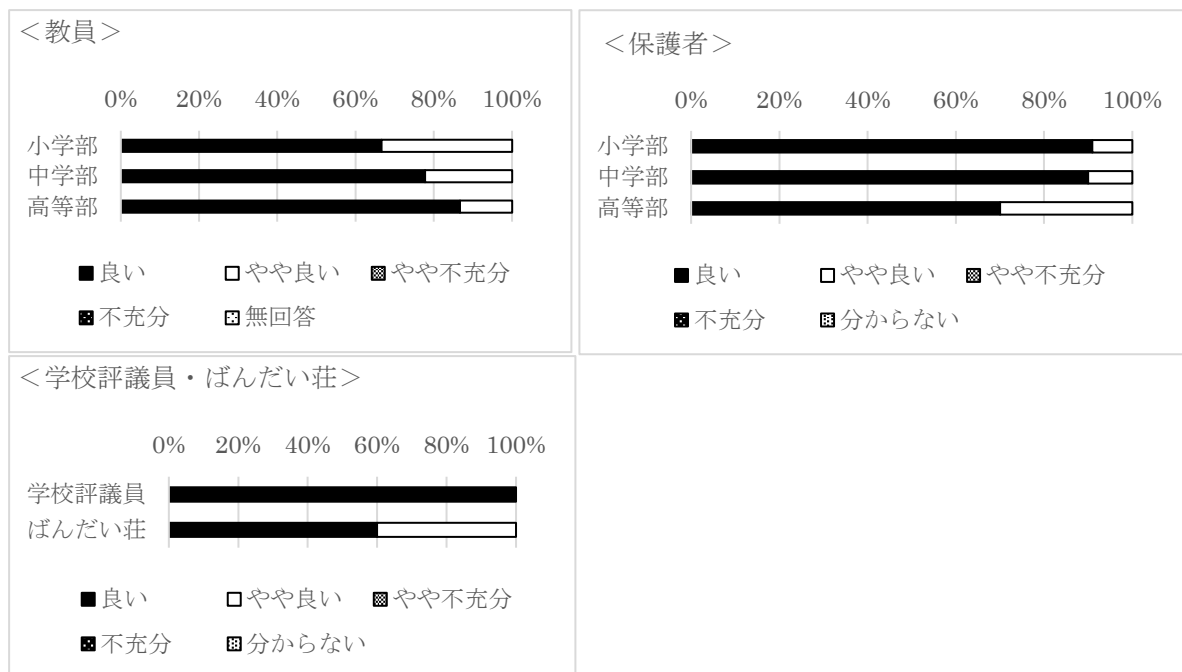
(9) 一人一人の健康課題解決に向けた取り組み



教員、保護者、学校評議員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。ばんだい荘職員は、「分からない」の回答がごく一部あった。学校評議員の自由記述においては、「個別のカードから日常生活への注意事項を分かりやすくしている。」という意見があった。

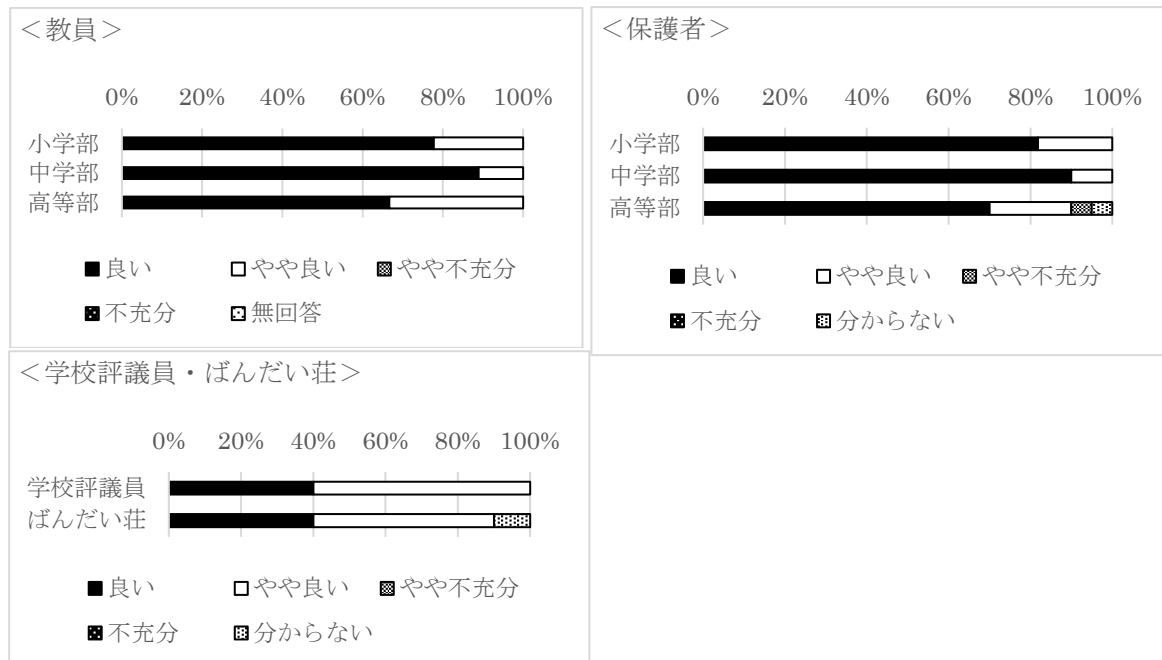
肥満、むし歯、アレルギー、生活習慣の乱れ、第二性徴に関わる性の問題、メンタルヘルスの問題・・・等、一人一人の健康課題解決に向けて、担任と養護教諭が連携し、児童生徒の健康課題にあわせて取り組んできた。課題解決には、本人だけでなく、家族やばんだい荘職員の協力も必須である。今後も連携を図りながら、課題解決に向けて取り組んでいきたい。

(10) 児童生徒の生命と安全を守り、獣害対策や安全・防災教育の充実



教員、小学部保護者、学校評議員、ばんだい荘職員共は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。学校評議員は、「良い」の割合が100%と非常に高い評価であった。保護者の自由記述においては、「クマ対策、どうもありがとうございます。」、学校評議員は、「校内外の環境整備が安全対策につながっている。」の意見があった。学校生活において一番大切なのは、児童生徒の生命と安全である。それらを最優先事項として、普段から予防に努め、対策を練っていく必要がある。児童生徒の防災意識を高め、自分の身を守る行動を身に付けていけるよう、教員は普段から危機管理意識を高くもちながら、今後の指導にあたっていきたい。

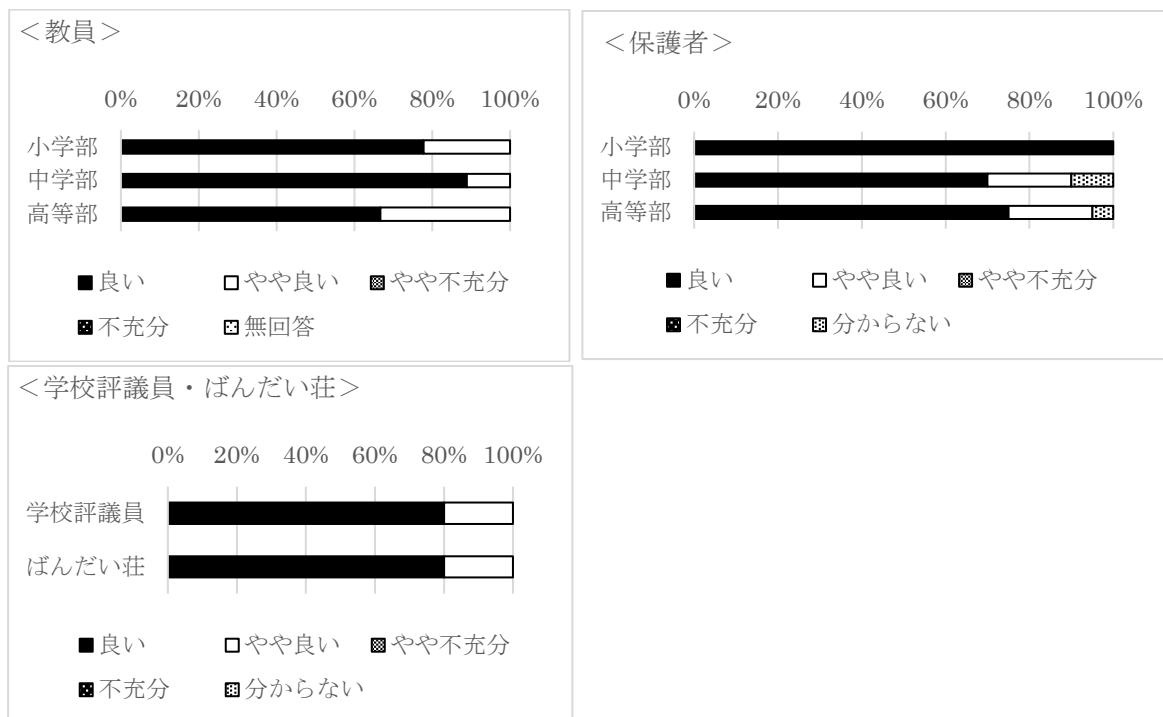
(11) 生きる力を育む教科指導の工夫を大切にした授業づくり





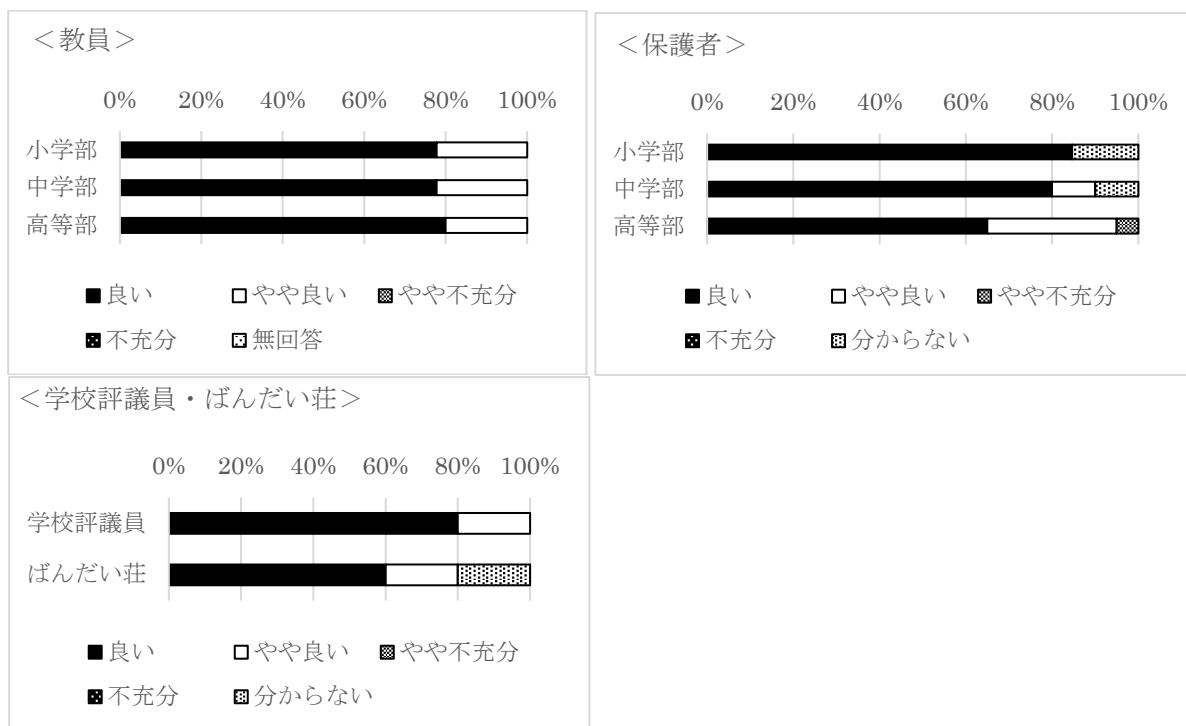
教員、小学部・中学部保護者、学校評議員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。高等部保護者やばんだい荘職員は、「やや不十分」「分からない」との回答がごく一部あった。生きる力である「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」を育む教科学習を大切に授業づくりを工夫することが概ねできていると評価する。本校では、授業研究会を行ったり講演会を実施したりと研究を行ってきた。教科ごとにグループをつくり、実際の授業の動画を観て振り返りを行ったり、意見を交わしたり、専門性の向上を図ってきた。今後も児童生徒の学びを積み重ねていけるよう、教員が意欲的に研修に励みながら専門性の向上に努め、児童生徒が「見方・考え方」を働かせた学びの姿を見取りながら、「分かった・できた」を感じることができるよう授業づくりの工夫を重ねていきたい。

## (12) 地域への啓発、地域の方々の理解と協力



教員、小学部保護者、学校評議員、ばんだい荘職員は、全て「良い」「やや良い」という評価であった。中学部・高等部の保護者においては、「分からない」との回答がごく一部あった。小学部保護者は、「良い」の割合が100%と非常に高い評価であった。学校評議員の自由記述においては、「いろいろな方法で、こまめな発信がなされ、理解や協力を得ている。」という肯定的な意見が挙げられていた。PTA活動や教育活動後援会、同窓会の活動の様子をホームページで紹介したり、除草作業やPTA便りの発行を行ったりした。後援会が設立され5年目を迎えたが、地域の方々、保護者、卒業生等より多額の支援をいただけたことにより、今年度も紅白幕やプール・楽器等の教材を購入したり、教育活動への援助をしていただいたりしており、充実した教育活動が行えている。今後も、地域の方々への啓発を十分に行い、理解と協力を得ながら、「地域の学校」となっていくよう努力を重ねていきたい。

(13) はあとふるタイムや校外の教育相談の実施



教員、学校評議員、全て「良い」「やや良い」という評価であった。保護者、ばんだい荘職員においては、「やや不十分」「分からない」と回答している方もいた。学校評議員の自由記述においては、「卒業生の保護者との連携は経験者からのアドバイスが得られ、良い話し合いの場になっている。」という意見があった。次年度の「はあとふるタイム」についても、保護者が参加しやすい日程や回数について検討していきたい。

地域支援センターでは、出かける支援や来校相談支援、地域の教員向けの研修等を行っている。また、通信「はあとふる」を発行しているが、今後も**保護者や地域のニーズ**に応じた「はあとふるタイム」や**教育相談の充実**を図っていききたい。

4 アンケートの記述内容からのまとめ（別紙資料参照）

- (1) 教員アンケートの記述では、教員の言葉遣いについて意見が述べられていた。全体に周知し、児童生徒に正しい言葉遣いで接することができるよう改めていきたい。
- (2) 保護者アンケートの記述では、学校に対する感謝や満足感、高等部の商品開発・販売の取り組みへの称賛や感謝が述べられていた反面、将来の進路に向けての不安、施設設備や教員の態度について改善を求める意見もあった。また、ICT機器の使用について分からないとの意見があったので、保護者にも分かる形で示していければと考える。改善できるところはすぐに改善し、次年度もよりよい学校づくりを目指して取り組んでいきたい。
- (3) 学校評議員アンケートの記述では、学校全体の落ち着いた雰囲気や学びやすい環境、学校の取り組みについて肯定的な意見が大半であった。地域をまきこんでの取り組みや授業における教員のさまざまな工夫に対しての称賛、部活動への感謝についても述べられていた。また、地域への発信方法として「回覧」や「マスコミ等の利用」についても肯定的な意見が多かった。
- (4) ばんだい荘職員アンケートでは、学校の取り組みやICT機器の活用、学びの姿の発信について肯定的な意見があった反面、一部の教員による児童生徒の名前の呼び捨てに関しての意見が挙がった。児童生徒を一人の人格として尊重していくことを念頭に、呼び捨てについては、すぐに改善を図っていききたい。なお、引き続き、地域の特性を生かした学習を工夫していきたい。

## 5 中学部・高等部生徒のアンケート結果

### < 中学部アンケート集計結果 >

No.	質問事項	はい	いいえ	わからない
1	学校生活は楽しいですか。	11	0	0
2	元気にあいさつや返事をしていますか。	11	0	0
3	身だしなみや言葉遣いに気をつけていますか。	10	0	1
4	先生や友達に自分の思いや考えを伝えたり、困ったときや悩んだときには先生に相談したりしていますか。	10	1	0
5	友達と学び合ったり、協力し合ったりしていますか。	10	0	1
6	授業はわかりやすいですか。	11	0	0
7	授業でタブレット機器やパソコン、大型テレビなどを使って学びが深まりましたか。	11	0	0
8	学校のきまりや約束を守りながら生活していますか。	11	0	0
9	学級の係や委員会での自分の役割をしっかりと行っていますか。	10	0	1
10	自分の進路(卒業してからのこと)について、しっかりと学習していますか。	10	0	1
11	健康や安全に気をつけて生活していますか。	11	0	0
○ よい学校にするための意見 ・特に意見なし。				

### < 高等部アンケート集計結果 >

No.	質問事項	はい	いいえ	わからない
1	学校生活は楽しいですか。	18	1	1
2	元気にあいさつや返事をしていますか。	20	0	0
3	身だしなみや言葉遣いに気をつけていますか。	18	2	0
4	先生や友達に自分の思いや考えを伝えたり、困ったときや悩んだときには先生に相談したりしていますか。	19	0	1
5	友達と学び合ったり、協力し合ったりしていますか。	20	0	0
6	授業はわかりやすいですか。	20	0	0
7	授業でタブレット機器やパソコン、大型テレビなどを使って学びが深まりましたか。	18	1	1
8	学校のきまりや約束を守りながら生活していますか。	20	0	0
9	学級の係や委員会での自分の役割をしっかりと行っていますか。	19	0	1
10	自分の進路(卒業してからのこと)について、しっかりと学習していますか。	15	0	5
11	健康や安全に気をつけて生活していますか。	20	0	0
○ よい学校にするための意見 ・思いやりがもてる学校にしたいです。 ・元気な学校にします。 ・みんなで協力し合って学校の決まりをきちんと守ることが大切。 ・家族に良くない言葉遣いをすぐに使ってしまうことがあります。				

中学部、高等部ともに「いいえ」「わからない」の回答がある項目がある。高等部生徒においては、NO.3「身だしなみや言葉遣いに気をつけていますか。」で2名が「いいえ」と回答していることから、大半が気をつけて生活しているものの、学校や家庭において、適切な身だしなみや正しい言葉遣いを意識しながら生活していけるような指導が必要であると思われる。

また、「よい学校にするための意見」には、高等部生徒から複数の意見が挙がった。どうしたらよい学校になるかを考え、積極的によい学校にしようとする意見や自分の生活を振り返って改善した方がよい点等の意見が出された。

※資料

教員、保護者、学校評議員、ばんだい荘職員アンケート記述内容

《教員》

3 <相手の良さを認め合い、思いやる言葉遣いで会話する力の育成>

●教師の言葉遣いが悪いことがある。

●教師も言葉遣いを意識して会話する必要がある。

7 <公共のマナーやきまりを守り安全を意識した行動を身に付けられる指導>

●指導はしているが、地域の特性上、公共施設を使いづらい環境（交通費問題）である。

<意見欄>

・記載なし。

《保護者》

1 <楽しく登校できる学校>

○お陰様で学校へ行くのが楽しいようです。(中)

5 <学びの姿を家庭や地域に向けて工夫して発信>

●もうちょっと学校の様子などを写真で見せてほしい。でもネット（公式ホームページ）でも載せてもらっているのでBにしました。(中)

6 <ICT を活用した効果的な学び>

●使用しているか分からなかったため。(小)

●使用しているか分からなかったため。(高)

8 <進路学習や進路情報の充実、進路意識の啓発、勤労観や職業観の育成>

●障がいのある子が将来的に働ける社会づくりをして欲しい。受け入れてくれそうな職場が少ない。(小)

10 <児童生徒の生命と安全を守り、獣害対策や安全・防災教育の充実>

○クマ対策、どうもありがとうございます。(中)

<意見欄>

○とても大人になったなと感じることが多くなりました。いつもありがとうございます。感謝しています。(小)

○毎日学校に通えて授業や活動に参加でき、充実した学校生活を送れています。先生方のおかげです。ありがとうございます。(中)

○「うまくてごめんな山菜」の商品企画などとても素晴らしい取り組みをしていると思います。(高)

○「うまくてごめんな山菜」の販売は本当にすばらしいと思います。(普通の高校でもなかなかできないと思うので) 良い経験をさせていただき感謝しています。(高)

●進学または就職するにしても今の社会のままでは、子どもたちがかわいそうすぎる。学校側も大変だと思いますが、もっと就職や進学に向けて力を出してほしい。子どもの将来が一番心配です。(小)

●外のスロープのガタガタが体に負担がかかっているのではないかと心配になります。車いすを無人で運んでいるときに振動が不快です。(中)

●入学準備物にまだ必要か分からないものがあり、その点は改善していただきたいです。(高)

●保護者の前で子どもに向ける表情でにらんでいる先生方が見られます。教育方法としてそういう対応されているのですか？(高)

《学校評議員》

1 <楽しく登校できる学校>

○落ち着いた雰囲気の中、安定した生活態度が見られた。

2 <学び合える場を工夫と言葉の力の育成>

- 一人一人の自発的行動を、時間をとって見守り指導していた。
- 3 <相手の良さを認め合い、思いやる言葉遣いで会話する力の育成>
- 行事のまとまりから、日常の相互理解ができていると思われる。
- 4 <互いに協力し合う活動を取り入れ、生徒が自ら行動、発信する力の向上>
- 自分のできることを、自信をもって行い、発信しようとする姿が見られる。
- 5 <学びの姿を家庭や地域に向けて工夫して発信>
- ホームページ、学校だよりの地域回覧など身近な人々への発信が見られる。
- 6 <ICTを活用した効果的な学び>
- 個別指導でできるだけ活用できるよう取り組んでいる。
- 7 <公共のマナーやきまりを守り安全を意識した行動を身に付けられる指導>
- 校外活動、社会体験などで交通機関の利用方法、ルールなど学ばせている。
- 8 <進路学習や進路情報の充実、進路意識の啓発、勤労観や職業観の育成>
- 就労に向けて早期の知識・体験を学びとさせている。
- 9 <一人一人の健康課題解決に向けた取り組み>
- 個別のカードから日常生活への注意事項を分かりやすくしている。
- 10 <児童生徒の生命と安全を守り、獣害対策や安全・防災教育の充実>
- 校内外の環境整備が安全対策につながっている。
- 11 <生きる力を育む教科指導の工夫を大切に授業づくり>
- 「できる」ことを大切にしながら、自信をもち、自分を大切にすることになっている。
- 12 <地域への啓発、地域の方々の理解と協力>
- いろいろな方法で、こまめな発信がなされ、理解や協力を得ている。
- 13 <はあとふるタイムや校内外の教育相談の充実>
- 卒業生の保護者との連携は経験者からのアドバイスが得られ、良い話し合いの場になっている。

#### <意見欄>

- いつもお世話になっております。本来であれば改善点を挙げた方が良いのですが、今回の見学では生徒の生々とした姿が見られ、自分自身も勉強になりました。「うまくてごめんな山菜」の発売に向けての行動力、発信力、地域をまきこんでの取り組みはすばらしいものでした。ありがとうございました。
- 学校全体が落ち着いた雰囲気が見られ、学びやすい環境になっていると感じる。行事を通して、4月からの成長した姿を見ることができ、いろいろな感動をもらうことができた。サッカーに出会って新しい活動に参加でき、喜びを共有していることを聞き、うれしく感じる。
- 子ども達は伸び伸び活動しているし、先生方もいろいろと工夫して取り組んでいるのが良く分かります。これからも宜しくお願いします。
- 不動地区において、「回覧」利用して情報を発信され、地元の区民として理解が深まったと思います。今後も「回覧」を利用していただきたいと思います。新しい試みを実行され、マスコミ等の利用も有意義だと思います。

#### <<ばんだい荘職員>>

- 1 <楽しく登校できる学校>
- さまざまな取り組みありがとうございます。
- クラスによって行こうとされない方も時折いらっしゃいます。人数が少なく、学力によってなので難しい状況です。
- 4 <互いに協力し合う活動を取り入れ、生徒が自ら行動、発信する力の向上>
- 「うまくてごめんな山菜」すばらしかったです。子ども達同士だけでなく、先生と子ども達と一緒に作り上げていると感じました。
- 5 <学びの姿を家庭や地域に向けて工夫して発信>
- 修学旅行の写真が更新されることを楽しみにされているご家族がいらっしゃいました。

6 <ICT を活用した効果的な学び>

○子ども達がタブレットで作成したものに驚きました。

<意見欄>

●先生方が子ども達を呼び捨てにすることがあり、気になります。

○数年前は言葉遣いが雑な教員が確認されたとの話があったが、現在はそのような報告がありません。